

農事組合法人もとすファーム（岐阜県本巣市）

組織の概要

- 水稻を中心に小麦、大豆の他、キャベツ等複数の野菜を生産。経営面積は約130ha（R4年）。
- 平成11年に法人を設立、構成員は9人（R4年）。
- 旧本巣町地域で最大の担い手であり、180名近くの地権者から農地を預かる。

生産概要

- 【作付面積】水稻：87ha、小麦：32ha、大豆：10ha、加工用キャベツ：1.4ha 等（R4年）
- 水稻-小麦-大豆の2年3作体系を中心に営農。農閑期の労力平準化のため、加工用キャベツを始めとする複数の野菜も生産。一部作業受託にも対応している。
- 小麦、大豆の作付面積は近年徐々に増加。小麦後の大豆作付を増やすことで、大豆作付面積の拡大を進める。
- 品種は、小麦はタマイズミ、大豆はフクユタカを作付け。



＜大豆収穫作業の様子＞

取組のポイント

＜先進的な生産技術の導入＞

- 播種前にサブソイラーによる心土破碎を実施し、排水性を改善。
- 狭畦密植栽培に取り組むことで、効率的に播種を行えた上、着粒位置が高くなり、収穫ロスも低減。
- 土壌の状態を把握し必要なほ場に苦土石灰を施用する等、土壌診断に基づく土づくりを実施。
- ドローンの導入により、省力化と適期防除を実現。
- 苗立ち改善に効果の高い種子コーティング剤の使用、一部ほ場で牛糞堆肥の施用を行う等、収量向上に向けた栽培の改善に取り組んでいる。



＜ドローンによる農薬散布＞

＜団地化に向けた取組＞

- 中間管理機構を通じた利用権設定により、団地化を推進。

取組成果

＜大豆生産の高位安定化の実現＞

■ 作付面積の拡大

R2：9.5 ha ⇒ R4：10.4 ha（9%増）

〔R6目標：12.2 ha〕

■ 単収の向上

R2：129kg/10a ⇒ R4：207kg/10a（60%増）

〔参考：本巣市平均単収(H27～R3年度7中5平均):132 kg/10a〕

大豆の作付面積と団地化率 (ha)

